清流ニューズ

発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニューズ編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
http://seiryuji.jpn.org/

平成二十七年度総祈願

本年度教化誓願達成
佛立開導日扇聖人ご生誕二百年慶讃
佛立開花運動第三年度御奉公成就之御願
晨尊三十三回御諱報恩御奉公成就
役中後継者養成・法灯相続促進

十一月の御総講日

一日　十時　御修行日
七日　十時　バースデー総講
日序上人報恩祈念
十三日　十時　高祖御命日
十七日　十時　開導御命日
廿五日　十時　門祖御命日

於清流寺

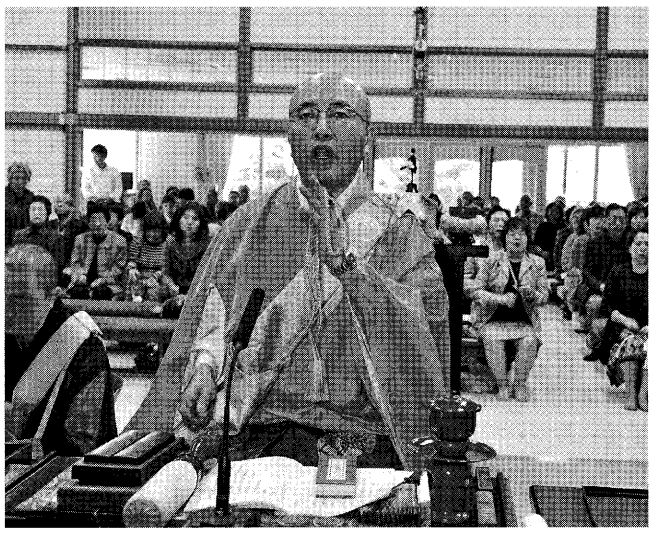
十二日　十時　高祖御逮夜
十六日　十時　開導御逮夜
廿四日　十時　門祖御逮夜
三十日　十時　歓尊御命日

於羽村別院

会議

一日　御総講後　役中会議
廿五日　御総講後　教区長会議
廿八日　午後三時　参事会

十月十八日 晴天の下 高祖会無事奉修される ご唱導の伊藤日博上人



【写真】力強くご唱導の日博上人

伊藤日博上人は、前日の十七日に来八され、奉修にそなえて下さった。

当日は、奉修御導師の御徳と、参詣者のご信心をいただき晴天のお計らいを頂いた。おかげ様で、本年の三大会はすべて晴天のうちに奉修させていただけた。

また、随伴参詣として、はるばる長崎より十名の御参詣をいただき、高祖会に花をそえて下さった。

伊藤御導師のご法門では、随伴参詣された、窄中淳子さんの、信行体験談をご本人から直接ご披露いただくという誇らしいかたちのご法門で参詣者に感銘をあたえられた。

ご法門の詳細は二面に掲載させて頂きました。

御教歌

常々に　信心なくば
御利益は　いたゞかれぬと
いふをしりきや

御題　懈怠にて御利益なしと
つぶやくをいましむ

（開花要談十・
扇全十三巻二九四頁）

【大意】

いつも変わらず懈怠なく、誠実によろこびの心をもってさせていただく、日にちの信行ご奉公によって、自ずからご利益をいただける。信心は「常々に」「大切に」努めるようにとお教えです。

（ポイント）

○常々に…常日頃、ふだん。
○信心……お題目口唱、お寺やお講参詣、御法門聴聞
○お助行、お教化、化他行
○「しりきや」
①本当にそう思っているのであろうか
②よく心得なさい
③知っていても果たして実行できているのだろうか

【御指南】

「信心口唱は常にあることなり。難来てする信心は事成ずればやむ也。真の行者にはあらず」

（開花要談三・
扇全十三巻七八頁）

ご法門のレジュメより

本月の御妙判

色読

法華経を余人のよみ候は口ばかり、言ばかり読めども心はよまず、心は読めども身によまず色心二法共にあそばされたるこそ貴く候へ。（土籠御書695）

是は日蓮聖人が佐渡へ出発される前日に土牢の中に幽閉せられていた日朗等五人のお弟子に与えられたお手紙の一節であります。

お祖師様はあらゆる迫害の中に於て其の信仰を一貫せられたのですが、お弟子に対しても、あらゆる困難に堪えて信仰を貫かねばならぬという教誡を与えておられましたが、文永五年十月に諸宗の僧等との対論を幕府に対して要求せられた際、

「定めて日蓮ト弟子檀那ト流罪死罪一定ナランノミ。少シモ之ニ驚クコトナカレ。方々ヘ強言申スニ及バズ。是レ併シ乍ラ強毒ノ故ナリ。日蓮庶幾セシムル所ニ候。各々用心有ル可シ。少シモ妻子眷属ヲ憶フコトナカレ。権威ヲ恐ルルコトナカレ。今度生死ノ縛ヲ切テ仏果ヲ遂ゲシメ給へ。」

と、弟子檀那に申し渡されたわけで日朗等は此の教訓を身に体し法華経のために尽くしたので土牢の中に閉じ込められることになったのです。

信仰が強かったのでこういうことになったわけで、その強いというのは、口先だけで法華経を読んでも心に信じなければ意味がありません。たいていの人は「口バカリ」であって心によまなければダメで、タトヘ心に読んでも「実行しなければ何にもなりません。」この「実行する」というのを**「色読」**と申すので法華経は心読色読でなければなりません。

「仏滅度ノ後ニ悪世ノ中ニ於テ、暫クモ此経ヲ説ン。是則チ難シトナス。」（宝塔品）

と説かれてあります。その難しいという色読を貫いたのが日朗菩薩で、宿屋光則の邸の裏手にあった土牢でヒタスラ師匠の身を案じている姿をみて、光則は感動して、後に信者となりその邸は今、光則寺として残っています。

口だけでは不可。心に読んでも不充分。御題目は口で唱え、心に決定し、菩薩行を実践するというのが、色読というもので**「色読」**しなければならぬという事であります。

十一月朝参詣強調週間

十一月二日～六日 第三・第四連合担当

十一月二日より本年最後の朝参詣強調週間です。

当番は、第三、第四連合の各教区。

十一月二日（月）国分寺教区
三日（祭）小平教区
四日（水）東村山教区
五日（木）小金井教区
六日（金）昭島教区

本月の他寺院参詣

三ヶ寺

十一月十五日（日）館山廣全寺
廿二日（日）練馬本信寺
廿九日（日）麻布光隆寺

日序上人御十七回忌報恩ご奉公御有志奉納者氏名（その七十一）

（教区順。敬称略。順不同）

二十七年十月十八日現在
合計九二七名、一，七六三口